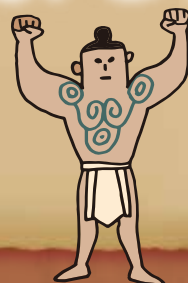


同時開催 参加無料

ムナカタの謎にせまる!

5館周遊クイズラリー

期間中、県内5カ所で開催される展覧会をめぐって、ムナカタの謎を解き明かそう!
謎を明らかにすると、抽選で景品をゲット!



遊び方

STEP1

各展覧会会場で問題が書かれたパネルを見つける。

STEP2

各展示を見て、問題の答えを下部にある解答欄に記入。

STEP3

キーワードがそろったら専用サイトにアクセス。

STEP4

専用サイトでキーワードを入力。

STEP5

謎解きに成功したら、フォームから応募して抽選で景品をゲット!

クイズの答えを書き込もう!

応募締切
12/25(金)

《宗像大社神宝館》での答え

《福津市歴史資料館》での答え

《九州国立博物館》での答え

《九州歴史資料館》での答え

《海の道むなかた館》での答え



謎解きに成功すると //

A賞



イラストレーター「土器修三」さんのイラスト入り
オリジナル特製マスク
プレゼント!
抽選で
200
名様に

B賞



イラストレーター「土器修三」さんのイラスト入り
オリジナルトートバッグ
プレゼント!
抽選で
300
名様に

福岡を中心に活躍する
イラストレーター「土器修三」

1954年香川県生まれ/1987年福岡に転居。岩田屋、VIVRE、西鉄関連など様々な広告イラスト、ウィンドウディスプレイ、パッケージデザインなどを手がける。/2015年、平尾にギャラリー「poohla」を設ける。/2019年、台湾で「福岡の3人展」開催。/2021年、バンコクで個展を予定。

【Instagram】shu_d2018
creatures2013



秘密のキーワード

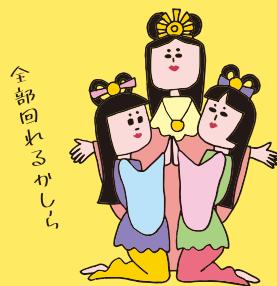
5つの答えの に入る文字を並びかえてみよう!

下の二次元コードから専用ページにアクセスし、
秘密のキーワードを入力しよう。



<https://www.okinoshima-heritage.jp/5kan/quiz/>

当選は発送をもってかえさせていただきます。景品のデザインは変更になる場合があります。



全部回れるかしら

世界遺産の謎にせまる



謎の男たち



ムナカタ

—祈り・暮らし・交わり—

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群
調査研究成果 5館連携展覧会

同時開催

謎解きイベントで
オリジナル
グッズ
プレゼント!

2020(令和2)年

9月1日(火) - 12月23日(水)

※開催期間は会場によって異なります。

【特設サイト】<https://www.okinoshima-heritage.jp/5kan/>

【主催】宗像大社神宝館、九州国立博物館、海の道むなかた館、福津市複合文化センター歴史資料館、九州歴史資料館、
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

【お問い合わせ先】福岡県世界遺産室(〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7)

TEL:092-643-3162 FAX:092-643-3163 MAIL:sekaiisan@pref.fukuoka.lg.jp



5館連携
展覧会

ムナカター祈り・暮らし・交わりー



2017年に世界文化遺産に登録された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群。この秋、福岡県内5カ所の博物館・資料館が初めて、遺産群をテーマに連携・企画する展覧会を開催します。
※来場の際は、各館の新型コロナウイルス感染防止策について事前のご確認とご協力をお願いします。感染の状況によっては、各展覧会が中止・会期変更になる可能性があります。

宗像大社 神宝館

特別展

神々への美宝

9月19日(土)～11月23日(月・祝)
9:00～21:00(入館は20:30まで)
無休

一般/800円(600円)
高校生・大学生/500円(300円)
小・中学生/400円(200円)
※()内は20人以上の団体および満65歳以上

聖なる美を追求した美宝

沖ノ島の国家祭祀でささげられた約8万点の絢爛豪華な奉獻品は国宝、沖ノ島神宝として知られています。この神宝は古代の人々の美意識を体現しており、美の骨頂とも言えるものです。本展では神宝の荘厳美とそこに隠された匠の技を体感していただけます。煌びやかなガラス製品の研究成果も必見です。



国宝 ガラス製玉類 眩いばかりの煌めきで古代から人々を魅了し続けた色とりどりの小玉。



国宝 カットガラス碗片 サーサーン朝ペルシア由来のガラス製容器の破片。浮き出しの円いカットが特徴。

同時開催

宗像大社 境内アート展
鎮守の森に
神宝写真を
展示!

宗像大社神宝館

宗像市田島2331
Tel: 0940-62-1311(代表)
https://www.munakata-taisha.or.jp/



九州国立博物館

文化交流展

宗像海人の刀

9月1日(火)～12月23日(水)
9:30～17:00(入館は16:30まで)
月曜休館
※9月21日(月・祝)、11月23日(月・祝)は開館。
9月23日(水)、11月24日(火)は休館。

一般/700円
大学生/350円
※高校生以下、18歳未満、70歳以上の方は無料。

最新科学で見た、海人の刀

沖ノ島祭祀を担った宗像君の刀に注目。反りのない真っ直ぐな鉄刀は、古墳時代の主要な武器の一つです。宗像君が葬られたと見られる、勝浦峯ノ畑古墳から出土した鉄刀には、刀装具が良好に残されていました。九州国立博物館では、最新科学の目でこの鉄刀を観察しました。



X線CT画像 装具に覆われて確認できなかった鉄刀の茎を観察。二つの目釘が新たに発見されました。

勝浦峯ノ畑古墳の大刀 全長約100mの前方後円墳から出土した大刀で、刀身は折れています。

九州国立博物館

太宰府市石坂4-7-2
Tel: 050-5542-8600
https://www.kyuhaku.jp/



海の道むなかた館

特別展

古代ムナカタ海人の世界

9月19日(土)～11月29日(日)
9:00～18:00 月曜休館
※9月21日(月・祝)、11月23日(月・祝)は開館。
9月23日(水)、11月24日(火)は休館。

入館無料

神秘的ベールに包まれたムナカタ海人

沖ノ島祭祀を支えたと考えられるムナカタ海人。宗像市の浜宮貝塚は、近年の調査によって沖ノ島祭祀と並行する5～6世紀の海浜集落であることが判明しました。浜宮貝塚の出土品や沿岸部に分布する古墳の調査成果をもとに、謎多きムナカタ海人たちの実像に迫ります。

伝浜宮貝塚出土特殊器台

沖ノ島を中心に、宗像地域周辺のごく限られた範囲でしか見つかっていない祭祀土器です。



田野瀬戸古墳群出土の鉄製ヤス

沿岸部に築かれた田野瀬戸古墳から、馬具や武器とともに魚捕りの鉄製ヤスが出土。副葬品から海人集団を束ねたリーダーの性格を読み解きます。



浜宮貝塚遺物出土状況 アワビの貝がらやタイ・フグの骨、土器などが出土。古代の海人たちは、現代人よりグルメかも。



海の道むなかた館

宗像市深田588
Tel: 0940-62-2600
http://searoad.city.munakata.lg.jp/



福津市歴史資料館

企画展

新原・奴山古墳群調査研究の現在

9月16日(水)～11月30日(月)
10:00～20:00 火曜・毎月最終水曜休館
※9月22日(火・祝)、11月3日(火・祝)は開館。
9月23日(水)、11月4日(水)は休館。

入館無料

最新レーダーで解析!宗像氏の新しい姿

沖ノ島祭祀を担い、宗像三女神信仰を育んだ古代豪族、宗像氏の墳墓群「新原・奴山古墳群」において、50年来蓄積してきた調査結果を展示解説します。また、近年行った非破壊で地下の遺跡を調査する「地中レーダー探査」や発掘調査など、最新の調査研究成果を通して宗像氏の姿に迫ります。



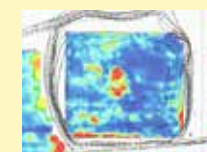
4号墳出土の鉄鍬、刀子、馬具(くつわ)

新原・奴山古墳群では、ヨロイやカブト、大刀など、様々な鉄製品が副葬品として石室から発見されています。



[刀子]

[馬具]



7号墳の地中レーダー解析画像

墳丘の中央に強い反応(赤色)が現れています。破壊を伴う発掘調査を行わずに地下の様子を探り、埋葬施設の位置や形を推定することができました。

福津市複合文化センター(カメラアステージ)歴史資料館

福津市津屋崎1-7-2
Tel: 0940-52-3321
http://camellia-st.com/museum/



九州歴史資料館

企画展(第2・4展示室)

福岡の古代豪族

9月15日(火)～11月29日(日)
9:30～16:30
月曜休館
※9月21日(月・祝)、11月23日(月・祝)は開館。
9月23日(水)、11月24日(火)は休館。

観覧無料

※第1・3展示室(常設展もしくは特別展)を観覧の場合は有料

出土品が語る、古代豪族たち

かつて福岡の地には「筑紫君」や「宗像君」といった古代豪族が独自の勢力を築いていました。その姿は、彼らが残した古墳や、そこから発掘された出土品によってうかがい知ることができます。本企画展では、福岡で活躍した古代豪族の姿を出土品から解き明かします。

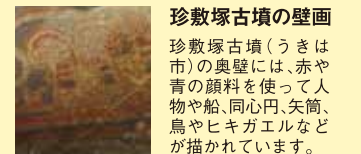


アマゾナイト製の玉

城ヶ谷19号墳(宗像市)で見つかった、アマゾナイトと呼ばれる稀少な石材でつくられた玉です。朝鮮半島から海を越えて伝わりました。



皆見大塚古墳の単環頭柄頭飾 皆見大塚古墳(みやこ町)で見つかった、大刀の柄頭に装着された金銅製の飾り金具です。中央に鳳凰の頭部がかたどられています。



珍敷塚古墳の壁画 珍敷塚古墳(うきは市)の奥壁には、赤や青の顔料を使って人物や船、同心円、矢筒、鳥やヒキガエルなどが描かれています。

同時開催

九州歴史資料館移転開館10周年記念特別展
福岡の至宝に見る
信仰と美
10/6(火)～11/29(日)



九州歴史資料館

小郡市三沢5208-3
Tel: 0942-75-9575
http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/

